

Kasugaoka J.H.S

# 明日への扉

アスヘノトビラ

平成30年10月号

京都市立春日丘中学校

## 道徳通信

\*\*\*学校教育目標\*\*\*

『確かな自立・志ある貢献』

今年は台風の当たり年です。9月に入って21号が襲来したと思ったら、先週末には24号がやって来ました。近畿各地で被害がありましたが、幸いにも春日丘校区では倒木などはあったものの、地域連携の成果もあり、大事には至りませんでした。

秋本番です。今月は4日（木）からの3日間、いよいよ春日丘フェスティバルが行われます。今年度はフェスティバル20周年の節目を迎えます。保育園や幼稚園の園児たち、地域の方々との交流で問われるのが“春日丘スピリッツ（魂）”です！「あいさつに始まりあいさつで終わる」「感謝の気持ちを伝える」…。簡単なようで、いざとなると難しいことですが、皆さんは日ごろから実践しているので大丈夫だと信じています。自信を持って、フェスティバルに挑んでください。伝統を受け継ぎ、後輩たちに引き継ぐのはみなさんです。また、今年度行事の前後に取り組んでいる話し合い活動を通じて、仲間とともに考えたことをフェスティバルで生かせることを祈っています。人のために、あなたができることは…？

\*\*\*授業の様子を紹介します\*\*\*



### “熱闘甲子園”

「本気の夏、100回目」のキャッチフレーズを掲げ、この夏も行われた全国高等学校野球選手権大会＝甲子園。この決勝戦を戦った大阪桐蔭高校 vs 金足農業高校。なぜ甲子園は16日間で100万人の観客が集まるほど、人の心を引きつけるのでしょうか？『熱闘甲子園』のビデオから、戦う高校生たちの顔の表情、姿などを目の当たりにし、甲子園に宿る感動の秘密を考えました。その秘密は『一生懸命な姿』なのではないでしょうか。それが、人の心を動かし、仲間同士の絆を深めるのだと感じた人が多かったようですね。そこには、結果だけではなく、本番の舞台に上がるまでの過程が大切であること、また、その過程により、お互いの信頼関係が築かれ、本気の夏が実現する！ということも理解できました。さあ、1年生のみなさんは、どのような気持ちで、甲子園を見つめ、春日丘フェスティバルなどの学校行事に思いを馳せたのでしょうか？

《ワークシートより（授業の感想）》

- 何かを一生懸命することは、とても大切だと思った。だから、合唱コンもみんな一生懸命に取り組んで、一番応援されるクラスになりたいです。
- 合唱コンクール、フェスティバルでは、遠慮せず、誰もが意見を出しあえて笑顔で乗り切れる最高の思い出にしたい。何事にも『笑顔』が大事なんだということを学んだ。そして、笑顔ともう一つ『本気』と言う言葉の持つ大切さがわかった。だから、これから何事も軽い気持ちでチャレンジするようなことはしない！と自分と約束した。
- 私は、今まで野球をあまり知らなかったけれど、今日の授業で、甲子園で必死に頑張っている姿を見て、しんどい練習を乗り越えてこそ、いろんな道があるのだなあと思った。いろんな人が応援してくれるし、仲間がいるからこそもっともっと頑張れるので、自分も仲間を大切に、一生懸命にあきらめない心を持ちたい。フェスティバル実行委員をするので、クラスをまとめるのは大変だと思うけど、大人から子どもまで楽しめるフェスティバルにしたいと思う。あきらめず、最後までやりきりたい。



## “スイッチ”

夏休み明け最初の道徳では、『自主自律』の大切さについて考えました。物語の主人公は卓球強豪校の新キャプテン・絵里。3年生の引退がかかった試合で格下の学校に敗れ、今度は顧問の先生が入院という窮地きゆうちに立たされます。先生のメニューをもとに練習しますが、1年生からは不満の声が。「どうやってチームを引っ張っていけばいいんだろう…」悩んだ絵里は、先生に会いに病院へ。そこで「君たちは試されているんだよ」と声をかけられ…。



みなさんにもこのような経験はありませんか？部活動や委員会など、これまで前を走ってきてくれた3年生に代わって、今度は1・2年生たちが春日丘中学校を引っ張っていくことになります。人に言われるがままではなく、自分で考え行動して、はじめて「自信」や「誇り」が持てるようになるのではないのでしょうか。定期テストやフェスティバルが近づく秋。自分のスイッチを切り替えてみませんか？

### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・人の意見に頼って責任をとらずに生きていくより、自分の意見を信じて責任をとった方がカッコいい。その場の空気に流されないように自分の意見を持ちたい。
- ・チーム一人ひとりが意識を変えることで、チーム全体が変わっていき団結力が強まるので、自分から行動しみんなのために動けるようになりたい。
- ・部活動で3年生が引退されて、わからないことばかりで不安でいっぱいだけど、3年生のように1年生を引っ張っていける先輩になりたい。自分たちだけでも頑張っていきたいと思う。



## “私の夢見る京都”

京都の8月16日といえば？…何の日かはもちろんわかりますね。今回のテーマは「郷土・京都」。みなさんは自分たちの住む“京都”のことや“春日丘地域”のことをどれくらい知っていますか？京都にはたくさんの歴史的建造物がありますが、みんなが住んでいるこの地域にも歴史にゆかりのある寺院や墓石があるので。自分たちが住む、この“京都”を大切に！そして、これからの“京都”のために自分たちは何かできることは？今回の授業を通して、みなさんが少しでも“京都”について考えるきっかけとなったらいいと思います。



### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・京都の良さをしっかり自分たちで保って、もっと素敵な京都にしていけないといけないと思った。観光都市として恥をかかないようにしていこうと思う。
- ・こんなに京都について考えたのは初めてだったし、京都のことさらに深く知れたのかなと思った。これからは自分たちが京都を守っていきたい。
- ・京都のことについて少しわかった気がする。身の周りのお寺にも行ってみたい。
- ・私たちが住んでいる地域にもこんなにもたくさんの歴史ある場所があるんだと初めて知れた。
- ・京都に住んでいるけど、思っていた以上に知らないことが多かった。また、簡単なことだけど、軽い気持ちでポイ捨てをしないことで美しい街になるなと思った。
- ・京都には京都にしかないものがあるから、たくさんの人が訪れている。ゴミが散らかっていると京都のイメージが悪くなるので、自分たちはもちろんゴミを捨てるが、まずは捨てないように心掛けたい。